

地域医療支援病院

岩国市医療センター  
医師会病院だより

<http://iwakuni-med.jp>



**心ひとつに地域貢献**  
**～安心・安全な医療をめざして～**

岩国市医療センター医師会病院

〒740-0021

岩国市室の木町3丁目6-12

☎ (0827) 21-3211 (代表)

E-mail : [info@iwakuni-med.jp](mailto:info@iwakuni-med.jp)

# 大人の発達障害について

茶川 治樹

近年、「大人の発達障害」という言葉を耳にする機会が増えています。発達障害は子どもの頃に診断されることが多いのですが、環境や周囲のサポートの違いによって、大人になってから困りごとが目立つようになり、そこで初めて気づく方も少なくありません。大人の発達障害とはどのようなものか、どのような支援があるのかを紹介します。

発達障害には、主に「自閉スペクトラム症」・「注意欠如多動症」・「学習障害」などがあります。いずれも脳の働き方の特性により、生まれつき得意なこと・苦手なことの差が大きいという特徴があります。決して本人の努力不足や性格の問題ではありません。

自閉スペクトラム症のある大人は、コミュニケーションが苦手だったり、相手の気持ちを読み取ることが難しかったりします。また、音や光に強く反応するなど、感覚が過敏な方もいます。日々の生活の中でこだわりがあり、予定の変更に強い不安を感じることもあります。こうした特性から、職場での人間関係や生活の変化に対応することが難しくなる場合があります。

注意欠如多動症の大人には「不注意」「多動性・衝動性」の特性が見られます。例えば、物をなくしやすい、約束を忘れやすい、作業を計画的に行うのが苦手といった困りごとが現れます。一方で、興味のあることには高い集中力を発揮する、行動力があるなど、強みが生かせる場面もあります。

学習障害は読み・書き・計算など特定の学習分野に限って困難が生じる特性です。知的な遅れがないため気づかれにくく、大人になってから「書類作成が極端に苦手」「数字の処理が難しい」などで困り感が強くなる方もいます。

大人の発達障害が注目されている背景のひとつに、社会の変化があります。仕事や生活で求められるコミュニケーションの量が増え、臨機応変な対応が必要とされる場面が多くなりました。そのような中で、これまで何とかやっていたが次第に負担感が強くなり、うまくいかなくなるケースが増えています。また、周囲の理解が得られず、努力しても失敗を重ねることで自信を失い、うつ病や不安症など二次的な心の不調につながることもあります。

大人の発達障害は、適切な理解と支援によって生活が大きく改善します。医療機関で診断を受けることで、特性に合わせたアドバイスや必要に応じた薬物治療、心理的サポートを受けることができます。また、地域の相談窓口や就労支援機関では、職場での工夫や生活リズムの整え方など、実生活に役立つ支援を受けられます。

日常生活では、メモやアプリを活用して予定を管理する、作業を細かいステップに分ける、刺激の少ない環境を整えるなど、様々な工夫で負担が減る場合があります。職場や家庭でも、「急な予定変更は避ける」「指示は具体的に伝える」など、周囲の理解と配慮が大きな助けになります。

大人の発達障害は、本人及び周囲が特性を正しく理解し、得意なことを生かしながら苦手をサポートすることで、誰もが自分らしく生活できるようになります。困りごとが続いている方や、周囲に当たる人がいると感じる方は、医療機関を受診し、支援につながる第一歩を踏み出すことが大切です。



第8回

# 医師会病院まつり

11/29(土)に医師会病院まつりを開催しました。

はじめに茶川治樹院長より、「大人の発達障害のお話」についての講演がありました。講演をきかれた方からは、「発達障害について気になっていたので、今回お話を聞くことができてよかったです」という感想がきかれました。

測定・相談コーナーでは、血管・肌年齢・骨密度測定、栄養・おくすり相談、看護・白衣体験、フットケア体験などがあり、皆さんそれぞれ興味のあるコーナーへ行き体験されたり、普段の食生活やお薬の相談をされたりして楽しまれています。



今年度の医師会病院まつりは、103名の来場がありました。

「地域の広告を見て気になってきました」と、初めて来場される方も多く、来場された方々からは「次回の開催も楽しみ」「健康について考える良い機会になった」と、嬉しいお言葉をいただきました。

「心ひとつに地域貢献」という病院目標のもと、地域の方々とたくさんふれあい、一緒に健康について考えることができ大変嬉しく思いました。今後も地域の皆様が楽しめる場をつくっていきたいと思います。



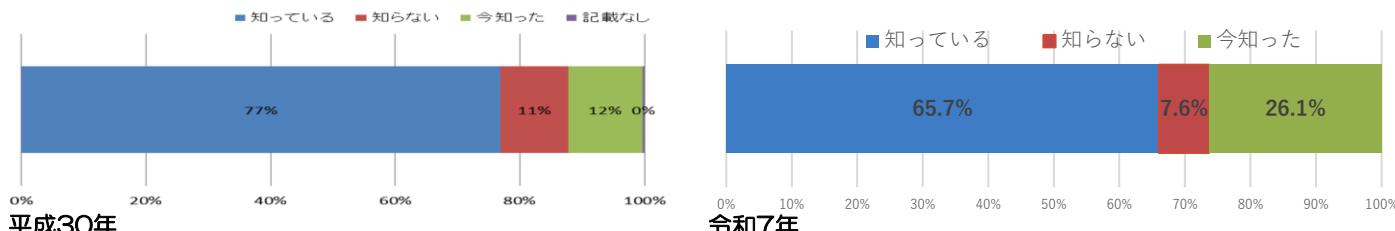
# 患者確認アンケート結果報告

当院では7/14～7/18の5日間で患者確認に関するアンケートを実施しました。ご協力いただきありがとうございました。今回のアンケート結果を前回実施した平成30年の結果と比較しました。

## 回答者内訳

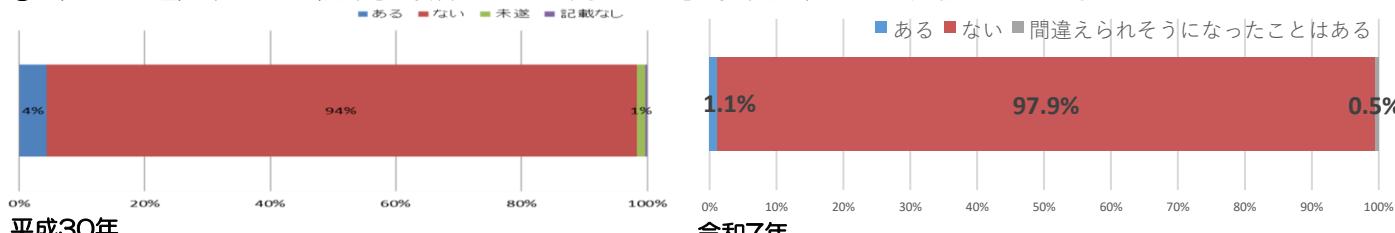
<患者>外来患者：134名（本館：31名、リハ外来：11名、療育：92名）・入院患者：95名  
<職員>診療部：11名、診療部以外：298名  
計：309名

### ①（患者共通）患者に名前を名乗ってもらう活動を知っていますか



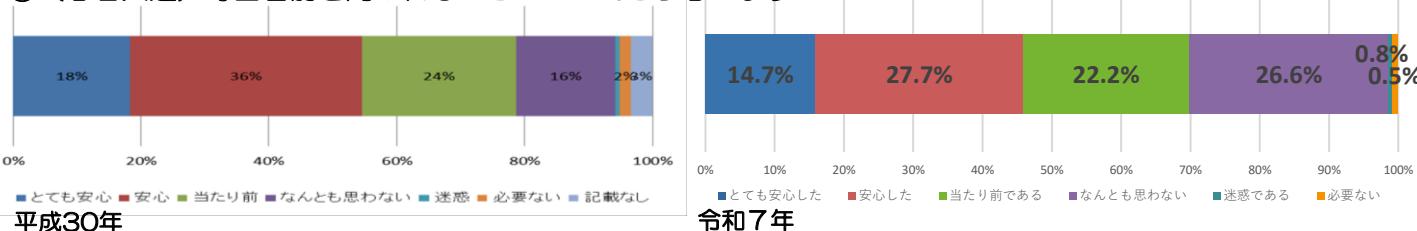
★活動を知っている・知らない患者さんは減少、活動を知った患者は倍に増加。  
(療育センターの回答者が多かったことも関与していると推察)

### ②（患者共通）今まで病院や診療所で名前を間違えて診察や投薬された経験がありますか



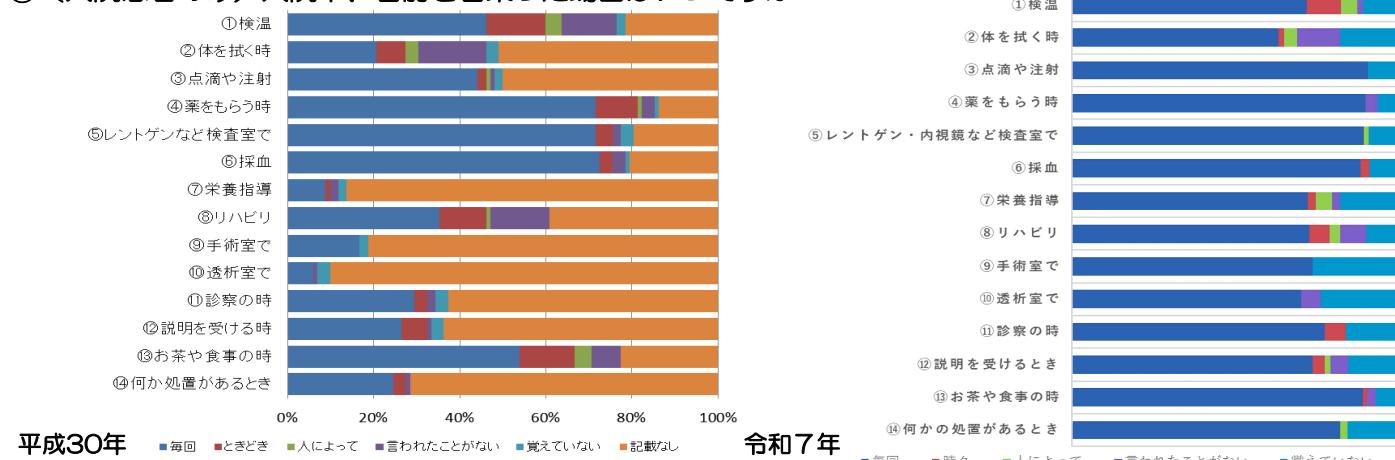
★間違えられた経験、間違えられそうになった経験がある人は減少。(94%～97.9%間違えられていない)

### ③（患者共通）毎回名前を聞かれることについてどう思いますか



★毎回名前を聞かれることに対して、肯定的な回答に変化はなく当たり前、何とも思わないが増加。

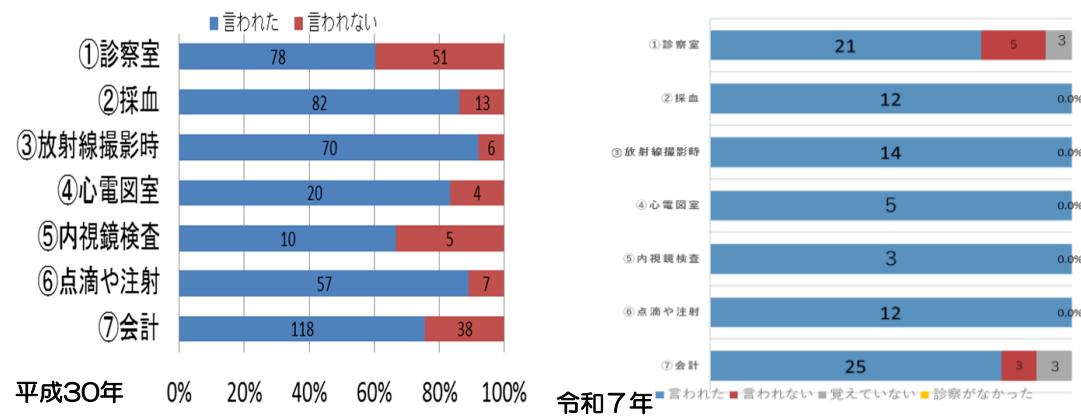
### ④（入院患者のみ）入院中、名前を名乗った場面はいつですか



★全ての項目において確認をしている事が増加、処置時や手術、透析室で多くなっている。

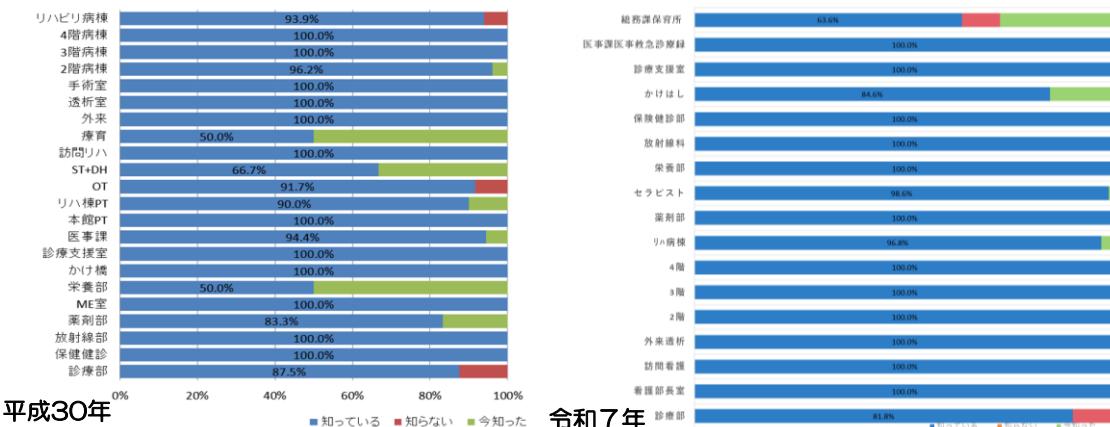


## ⑤ (外来患者のみ) 本日この場面で名前を名乗るよう言わされましたか



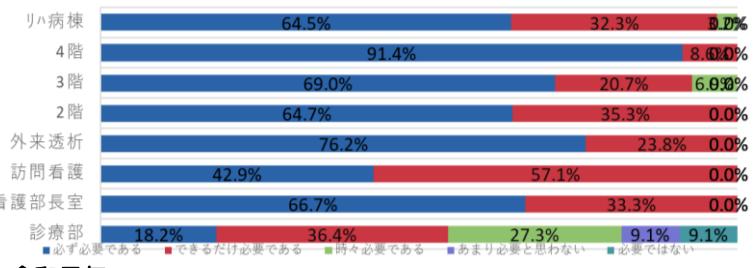
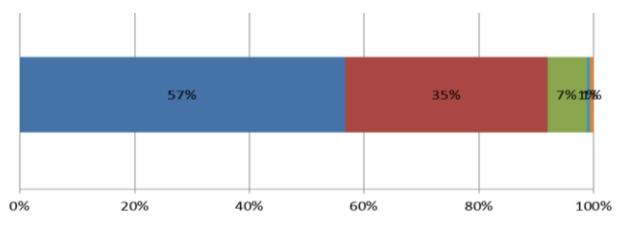
★場面別をみると、傾向性に変化なく、採血、放射線撮影等検査、処置時には100%尋ねられている

## ⑥ (職員のみ) 患者に名前を名乗ってもらう活動を知っていますか



★部署数も増加し、一部を除いた全部署の認知度は100%が増加(知らないスタッフは数名)

## ⑦ (診療部・看護部のみ) 毎回、患者に名前を名乗ってもらうことをどう思いますか



■ 必ず必要 ■ できるだけ必要 ■ 時々必要 ■ あまり必要ではない ■ 必要ではない ■ その他

■ 必ず必要 ■ できるだけ必要 ■ 時々必要 ■ あまり必要と思わない ■ 必要ではない

★看護部は名前を毎回名乗ってもらうことに必要性を感じているが診療部は一部必要ではないという回答あり。

### まとめ

- 患者側
  - ①名前を名乗ってもらう活動を知っている人は前回調査より減少
  - ②間違えられそうになった、間違えられた患者は減少し、98%の患者が間違えられていない
  - ③名前を聞かれることは「安心」、「何とも思わない」が97%を大半を占めている→患者確認は定着している
  - ④名前を確認される場面は増えており、検査、処置では100%聞かれている
- 職員側
  - ①名前を名乗ってもらう活動はほぼ100%、全職員に周知されている(知らないスタッフは数名)
  - ②コメディカルの誤認は少なく、診療部の誤認も減少
  - ③看護部は未遂も含めて前回調査と同程度の件数
  - ④毎回名前を名乗ってもらう活動の必要性は一部を除き「必要」と認識されている

患者誤認アンケートにご協力いただきありがとうございました。患者誤認はどの職種にも関連した絶対に間違ってはならない最重要事項です。今後も患者さんに名乗ってもらい、患者確認の徹底をよろしくお願ひいたします。

医療安全管理室 河邊景子

# あるき隊 シティロゲin岩国 参加報告

あるき隊は秋のイベントとして、岩国市合併20周年記念で開催された「シティロゲin岩国」に参加しました。院内掲示板に本イベント案内を載せて参加者を募り、貴船(診療部)・川村(総務)・末岡(総務)・石村(PT)・中本(PT)のコアメンバーと前回から参加の佐野(放射線部)、初参加の山崎(看護部)、藤田(看護部)の8名があるき隊A、Bの2チームに分かれて出場しました。「シティロゲ」とはシティロゲイニングの略称であり、観光スポットや飲食店などのチェックポイントを1~5人のチームで制限時間内にどれだけ多く回れるかを競う、観光の要素を取り入れた新しいスポーツと紹介されています。新感覚の「スポーツ」×「観光」まち巡りイベントとして全国各地で開催されているようですが、岩国では初開催、私たちも全員、初めての参加でした。

今回のイベントは、錦帯橋近くをスタート/ゴールとし、制限時間は4時間、市内に60のチェックポイントが設定されていました。専用のGPSアプリを使い、各チェックポイントで撮影した写真をアップロードすることにより得点を獲得するとともに、その場所にちなんだクイズに答えて、正解すると加点があります。すべてのチェックポイントを制覇すると3500点になりますが、時間の制約がありすべてを回るのは不可能です。ゴールまでに獲得した総得点数で競うのですが、午後2時の終了時刻に1分遅れるごとに10ポイント減点、10分過ぎると失格となります。チェックポイントまでの距離によって得点も違うので、制限時間内にどこを攻めるか戦略的な面もあります。チェックポイントは岩国城や城山展望台、新岩国駅などのある御庄、多田、関戸、横山、川西、岩国、錦見、運動公園のある平田、楠、今津の白蛇神社や長山公園まで広範囲にわたっています。健脚に自信のある18チームが走って回るアスリートコースへ参加されましたが、私たちは2チームとも歩いて回るエンジョイコースに参加しました。

当日の朝は前線通過の影響で大雨でしたが、スタート時間には小雨、午後には雨はやみました。あるき隊Aゼッケン番号91(平均年齢52歳)はチーム内で一番若く健脚の石村君が残り3人の脚力を考えながら攻略するコースを決め、地図を頼りに目的地に向かって誘導する係。リーダーの私はアプリを担当し目的地に着いたらアプリを起動させ、証拠写真を撮って得点を獲得し、そこでクイズを仲間に伝える係。みんなでスマホを使って答えを見つけたり、その場所にある碑などから正解を探していく方法で楽しくウォーキングを進めてきました。川西→牛野谷→錦見→岩国→横山の順に60地点中30地点を時間内に制覇、1855点を獲得しエンジョイコース91チーム中14位でした。あるき隊B(平均年齢38歳)は1790点で21位でした。終了後にスマホのヘルスケアアプリを見ると4時間で14km、21000歩していました。賞には縁がありませんでしたが、秋の日曜日に気持ちのいい汗をかきました。あるき隊Bのゼッケン番号90は協賛店が選んだ当選番号で錦帯橋せんべいをゲットしました。イベント後に獲得商品はAチームにも分けていただきました。来年もあるき隊はイベントを企画しますので、興味のある方は総務課の川村、末岡にご連絡ください。(文責 貴船)



# 健康いきいき教室 開催予定表

感染防止対策をおこないながら実施しています。どなたでも無料でご参加いただけます。  
参加をご希望の方は、外来までご連絡ください。 (TEL : 0827-21-3211)

時間 : 15:00~ 場所 : 本館1階 食堂

開催日	内 容	担当
12/18 (木)	食事療法	管理栄養士
12/22 (月)	薬物療法	薬剤師
12/26 (金)	フレイルについて	理学療法士・管理栄養士
11/28 (金)	運動療法	理学療法士
1/ 5 (月)	治療・合併症・日常生活	看護師
1/ 8 (木) ※ 13:30 ~	糖尿病について	医 師
1/ 9 (金)	フレイルについて	理学療法士・管理栄養士
1/13 (火)	薬物療法	薬剤師
1/15 (木)	食事療法	管理栄養士



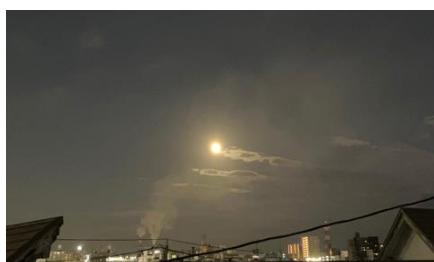
当院のホームページに、皆さんの健康維持・増進の手助けとなるようにと作成した  
**「健康づくりパンフレット」**を掲載しておりますので、ぜひご覧ください。

## 我が家の一〇〇自慢

今回はKさん宅のテラスについて  
紹介いただきました！

古い借家ですが、昔店舗だったため2階部分が広いテラスになっています。

南向きで日当たりがよく、洗濯物や布団が沢山干せるのが有難いです。室内犬を遊ばせるのにも充分な広さがあって、毎日のように走り回っています。



朝の景色がとてもきれいで。満月にも癒されます。

# 岩国市医療センター医師会病院 外来診療担当医師

(午前中のみ)

令和 7年12月 1日現在

	月	医師	水	木	金	土	
消化器内科 (肝臓)		川口 憲二					*毎週火曜日の午前中のみ診療を行っています
糖尿病内科				交替 (山口大学) (広島大学)			*第1・3・5木曜日(10時~14時半)は山口大学の医師が交替で診療を行っています *第2・4木曜日(9時~12時半)は ト部 景子(広島大学)が診療を行っています *完全予約制のため、医療連携室へ詳細はお問い合わせ下さい *栄養指導は、 <b>予約</b> が必要です
腎臓内科	福田 雅通	福田 雅通	藤野 修	福田 雅通 藤野 修	福田 雅通	福田 雅通	*第3木曜日は 藤野 修 が担当します *毎月第2水曜日・第3木曜日(13時~17時)にフットケア外来を行っています (完全予約制)
泌尿器科			徳永 貴範 (山口大学)				*毎週水曜日(13時半~16時半)に診療を行っています
小児科	福田 雅通	福田 雅通		福田 雅通	福田 雅通	福田 雅通	*紹介状を必ずお持ち下さい *第3木曜日は <b>休診</b> です
緩和ケア内科		中藤 嘉人 (午前)	中藤 嘉人	中藤 嘉人 (午前)			*初診の場合は、必ず <b>予約</b> が必要です
△ インクリニック内科	熊野 健一 (午前) (再診のみ)	熊野 健一 (午前)			熊野 健一 (午前) (第1・第3) 原田 英宜 (山口大学)		*毎週 火曜日・金曜日のペインクリニック(痛みの外来)は予約も可能です 急患や火曜日・金曜日以外の診療については、医療連携室または直接 熊野 健一へお問い合わせ下さい *第1・3土曜日(9時~12時半)は完全予約制のため医療連携室へお問い合わせ下さい
脳神経内科			石橋 はるか (広島大学)				*毎週水曜日(9時~12時半)に診療を行っています <b>(対象年齢: 16歳以上)</b> *完全予約制のため、医療連携室へ詳細はお問い合わせ下さい
整形外科	貴船 雅夫 (深堀 洋佑) (加藤 慶一)	貴船 雅夫 (深堀 洋佑) (加藤 慶一)	清水 元晴	深堀 洋佑	交替		*救急と予約診療以外は <b>午前中</b> にお願いします *火曜日の 加藤 慶一は手術のない日に診療を行っています *金曜日は 清水 元晴、深堀 洋佑 が交替で担当します
脳神経外科						(第2) 井本 浩哉 (山口大学)	*毎月第2土曜日 9時半~12時に診療(機能的脳外科)を行っています(要予約)
放射線診断科	三好 啓介 (山口大学)	交替	東 麻由美 (山口大学)	交替	上田 高顕 (山口大学)		*完全予約制のため、放射線科受付 (21-3224) へ詳細はお問い合わせ下さい
リハビリ科	繁富 賴雄 柳居 理絵子	松本 彰紘 (広島大学)	柳居 理絵子	繁富 賴雄	柳居 理絵子	木村 浩彰	*初診の場合は、必ず <b>予約</b> が必要です
療育	茶川 治樹	茶川 治樹	茶川 治樹 西川 美希 (午後)	茶川 治樹 (第1・第3) 西川 美希 (午前)	茶川 治樹	茶川 治樹	*完全予約制のため、療育センター (24-0168) へ詳細はお問い合わせ下さい

★ 救急は、この限りではありません  
★ 紹介状は必ずお持ち下さい

※ 土曜日の午前中は、病院医師1名の当直体制となっています  
\* 医療連携室電話番号: ☎ (0827) 21-3225

## 医療相談室についてご案内

疾病に関する医学的な質問、医療安全、医療費、各種申請書、各種証明書、入院生活、健康診断結果等の健康管理に係る相談、保健福祉サービスに関する相談等について、医療安全管理責任者・看護師・薬剤師・社会福祉士等の各担当者がご相談に応対します。  
本館1階受付にお気軽にご相談ください。

受付時間: 9:00 ~ 17:00 (平日)  
9:00 ~ 12:00 (土曜日)

## 救急センター

岩国市医療センター医師会病院救急センターは、下記の時間に診療を行っています。来院の際は事前に電話でご確認ください。  
受付時間 月曜 19:00 ~ 21:30 (内科)  
火曜~土曜 19:00 ~ 21:30 (内科・外科)  
日曜・祝日 9:00 ~ 21:30 (内科)  
9:00 ~ 18:00 (外科)  
9:00 ~ 12:00 (小児科)  
9:00 ~ 11:30 (歯科)  
木曜・日曜 19:00 ~ 21:30 (小児科(4歳以上))  
(来院型オンライン診療)



携帯電話でアクセス!  
左の2次元バーコードを携帯のカメラで読み取り、携帯電話に登録できます。